様式第２号（第３条関係）

審 議 会 会 議 録

会 議 名 称	令和２年度第１回伊達市上下水道事業経営審議会		
議　　題	議案第１号　正副会長の選出について 報告第１号　令和元年度・令和２年度水道事業、簡易水道事業、下水道事業の概要及び経営状況について 報告第２号　新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う上下水道料金の減免について		
開 催 日 時	令和２年11月16日（月）書面会議		
場　　所	書面開催		
出 席 者	書面決議者10名（未決議者０名）		
	所管部課名	建設部水道課・下水道課	
公開非公開の別	□ 公　開	傍聴者の人数	
	□ 非 公 開	非公開の理由	

【会議の概要】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面会議により開催し、書面表決を行いました。結果は次のとおりです。

１　議　事

（１）　議案第１号　正副会長の選出について

説明：会長を伊藤千代子委員、副会長を菊地文雄委員とする。

結果：承認（賛成10名・反対０名）

（２）　報告第１号　令和元年度・令和２年度水道事業、簡易水道事業、下水道事業の概要及び経営状況について

説明：資料のとおり

質疑応答：なし

（３）　報告第２号　新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う上下水道料金の減免について

説明：資料のとおり

質疑応答：以下のとおり

○委　員：今月に入り感染者が一気に増え、これから先がどうなるのかわからない状況ですが、上下水道料金の減免は続くのでしょうか？

○委　員：（今後も減免が）あれば嬉しいです。

●事務局：本市における今後の上下水道料金の減免につきましては、現在のところ実施予定はありません。

しかしながら、北海道は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じた対策を実施する新たな５段階の警戒ステージを11月７日付で「警戒ステージ３」に引き上げており、今現在も世代間や地域での感染の広がりがみられる状況であるため、今後の地域経済の状況によって、慎重に判断をしていきたいと考えています。

○委　員：事業者向けの減免について、申請が多数あり有効であったと思います。
個人の方の申請はほとんどなかったという結果について、その要因が対象となる方が少なかったのか、今回の措置を知らなかったのか（私は知りませんでした）など、調べることで、今後のより有効な措置の実行につながるのかと思います。

●事務局：事業者に対しては、伊達市がんばる事業者応援金等の申請案内と共に、上下水道料金減免の案内文を同封したことや、減免要件である給付金を受けている事業者が多かったことで一定程度の申請件数を得ることが出来たと考えています。

一方、個人の方は離職者を対象としていますが、市では対象者の特定が不可能であり、案内方法として、市ホームページ、広報だて、公共施設へのチラシ配布による周知を行うと共に、ハローワーク伊達には来所した方に減免制度を案内していただくよう依頼をしました。

結果的に２件の申請となったことは、想定していた以上に離職された方が少なかったのではと考えているところです。

令和２年度 第１回伊達市上下水道事業経営審議会（書面開催）

次　第

１　議事

⑴　議案第１号

正副会長の選出について

⑵　報告第１号

令和元年度・令和２年度水道事業、簡易水道事業、下水道事業の概要及び経営状況について

⑶　報告第２号

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う上下水道料金の減免について

令和2年11月16日(月)開催

令和2年度

伊達市上下水道事業経営審議会(第1回)資料

水　道　事　業

建設部　水道課

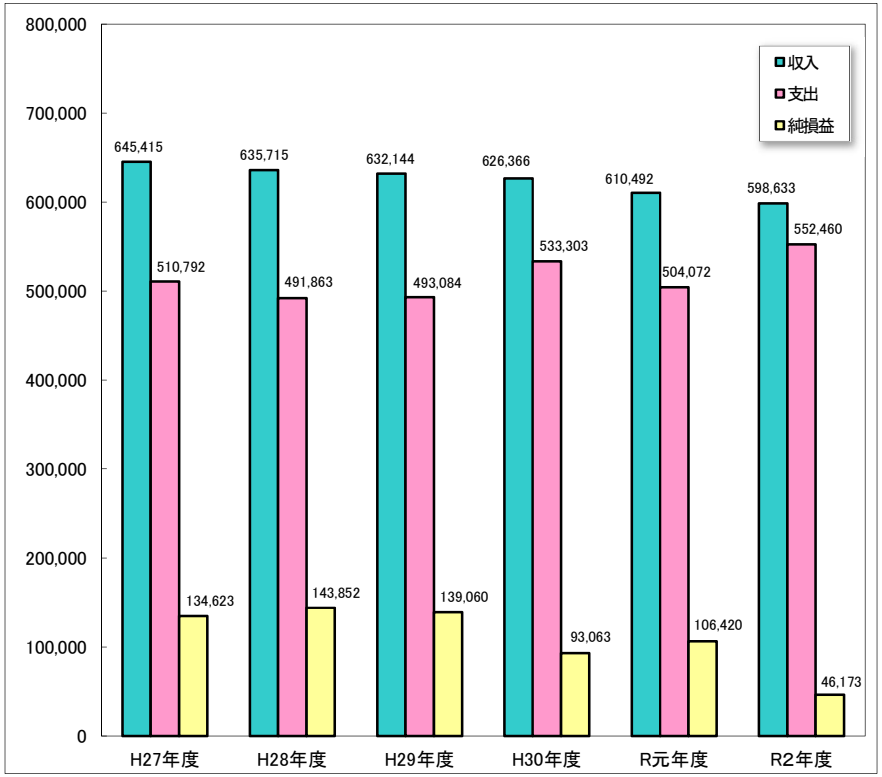
伊達市水道事業会計の財政見通し

1. 収益的収支の状況

（単位:千円・税抜）

区分			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
収入	営業収益	水道料金	570,016	531,256	547,149	547,254	512,385	512,911
		受託工事収益	1,658	1,870	1,082	1,719	2,250	2,323
		その他営業収益	49,659	45,015	51,406	53,304	47,557	56,959
	営業外収益	受取利息	149	59	59	64	69	161
		長期前受金戻入	23,881	25,098	23,757	23,981	25,728	25,140
		雑収益	52	213	184	44	58	61
		補助金					0	0
	特別利益	その他特別利益	14,052	32,204	8,507	0	22,445	1,078
	計		645,415	635,715	632,144	626,366	610,492	598,633
支出	営業費用	原水及び浄水費	97,346	100,349	97,718	98,965	97,398	124,172
		配水及び給水費	27,671	28,811	26,114	28,330	20,745	38,876
		受託工事費	1,480	1,397	1,144	1,489	671	2,068
		業務費	21,606	22,325	25,294	21,550	21,923	26,477
		総係費	133,367	106,036	99,032	135,643	103,898	109,412
		減価償却費	202,679	209,633	213,135	222,979	223,341	226,672
		資産減耗費	13,509	11,190	16,732	14,287	26,949	11,100
	営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	12,786	11,772	10,715	9,689	8,733	8,483
		雑支出	348	350	3,200	371	414	5,200
		国庫補助金返還金						
	特別損失	過年度損益修正損						
		固定資産売却損						
		その他特別損失						
	計		510,792	491,863	493,084	533,303	504,072	552,460
純損益			134,623	143,852	139,060	93,063	106,420	46,173

※令和元年度までは決算数値、令和2年度は当初予算数値。
※令和2年度の雑支出には予備費5,000千円を含む。

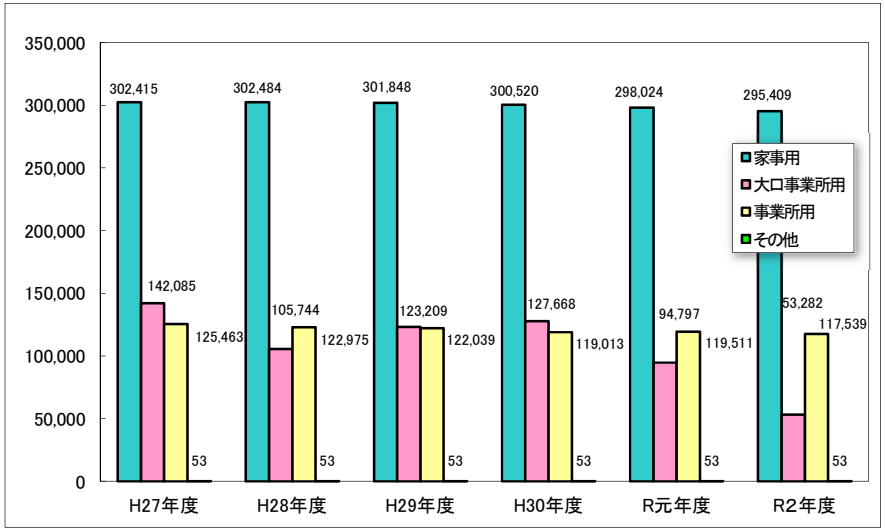


2. 水道料金用途別推移

（単位:千円・税抜）

区分		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
家事用	金額	302,415	302,484	301,848	300,520	298,024	295,409
	%	53.1	56.9	55.2	54.9	58.2	63.4
家事用以外（大口事業所用）	金額	142,085	105,744	123,209	127,668	94,797	53,282
	%	24.9	19.9	22.5	23.3	18.5	11.4
家事用以外（事業所用）	金額	125,463	122,975	122,039	119,013	119,511	117,539
	%	22.0	23.1	22.3	21.7	23.3	25.2
その他（浴場用）	金額	53	53	53	53	53	53
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	金額	570,016	531,256	547,149	547,254	512,385	466,283
	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※令和元年度までは決算数値、令和2年度は当初予算数値

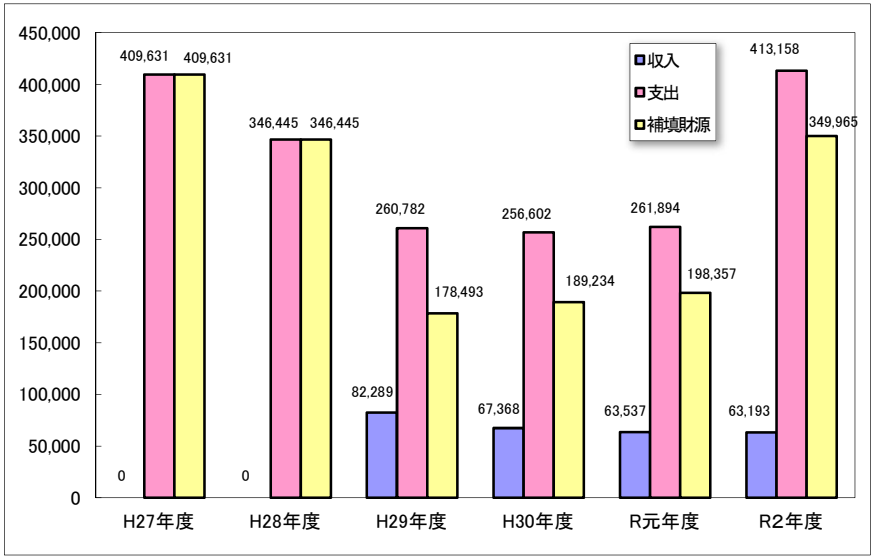


3. 資本的収支の状況

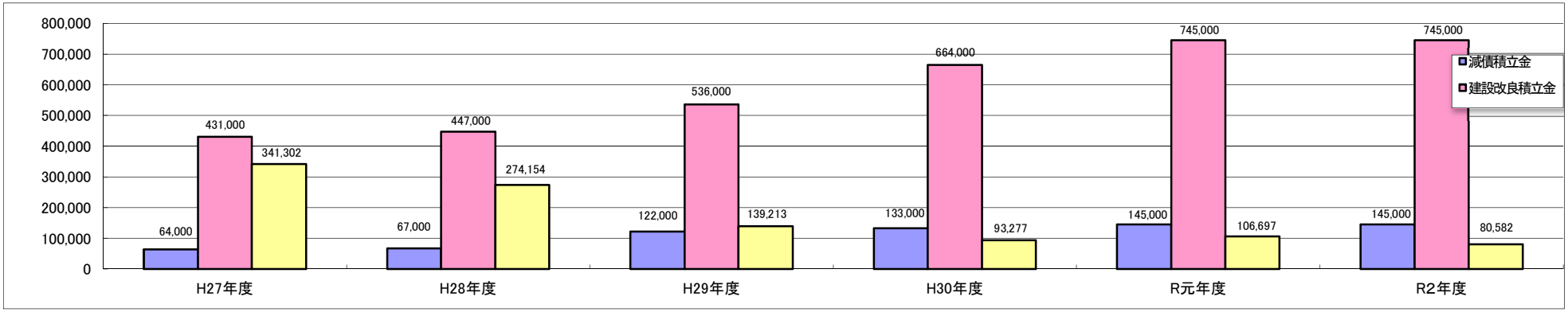
（単位：千円）

区分			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
収入	企業債				73,300	60,000	50,000	60,000
	工事負担金				8,989	4,992	13,537	3,193
	補助金							
	固定資産売却代金							
	保険金					2,376		
	補填財源		409,631	346,445	178,493	189,234	198,357	349,965
	計		409,631	346,445	260,782	256,602	261,894	413,158
支出	建設改良費	固定資産取得費	49,948	39,975	46,297	44,003	50,972	55,242
		施設整備費	57,348	82,048	49,734	19,645	28,512	35,200
		一般配水管設備費	270,626	190,998	130,528	153,246	140,173	179,960
	企業債償還金（元金）		31,709	33,424	34,223	39,708	42,237	42,756
	投資有価証券							100,000
	計		409,631	346,445	260,782	256,602	261,894	413,158

※令和元年度までは決算数値、令和2年度は当初予算数値



4. 利益剰余金の推移



（単位：千円）

区分	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
利益剰余金合計	836,302	788,154	797,213	890,277	996,697	970,582
減債積立金	64,000	67,000	122,000	133,000	145,000	145,000
建設改良積立金	431,000	447,000	536,000	664,000	745,000	745,000
未処分利益剰余金	341,302	274,154	139,213	93,277	106,697	80,582

※令和元年度までは決算数値、令和2年度は当初予算数値

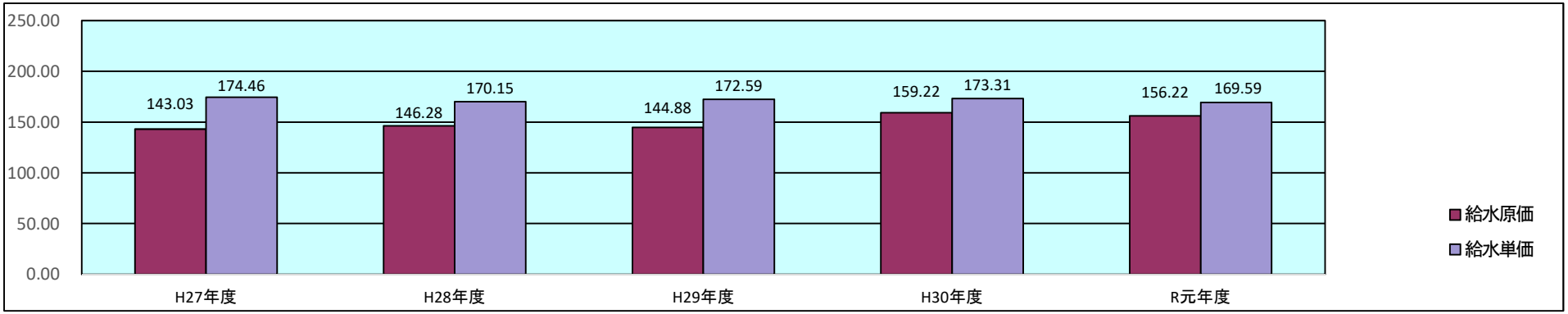
5.給水原価と供給単価の推移

（単位：円）

区　　分	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	
給　水　原　価	143.03	146.28	144.88	159.22	156.22	有収水量1㎥(1,000ﾘｯﾄﾙ)の水をつくり各家庭などまで運ぶ費用
供　給　単　価	174.46	170.15	172.59	173.31	169.59	有収水量1㎥(1,000ﾘｯﾄﾙ)あたりの給水収益
差　　額	31.43	23.87	27.71	14.09	13.37	

$$給水原価 = \frac{経常費用－(受託工事費＋受託工事の人件費＋材料売却原価＋付帯事業費+長期前受金戻入)}{年間総有収水量}$$

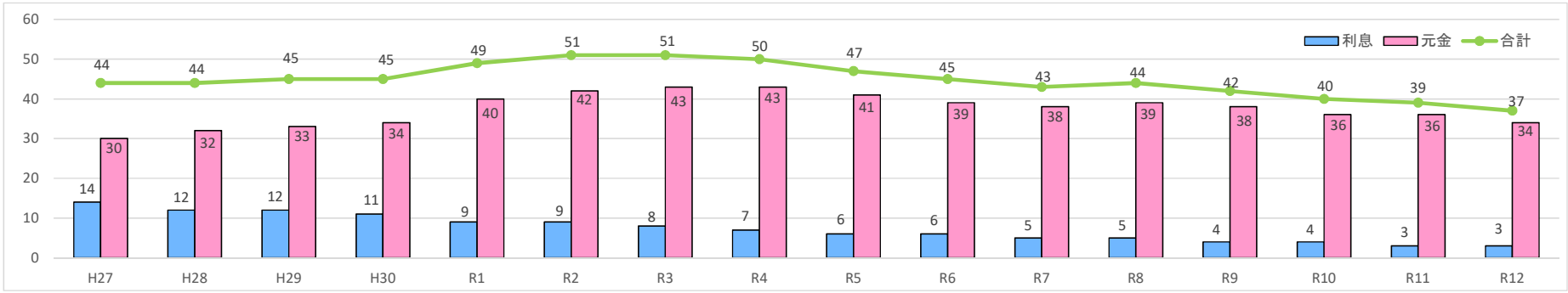
$$供給単価 = \frac{給水収益}{年間総有収水量}$$



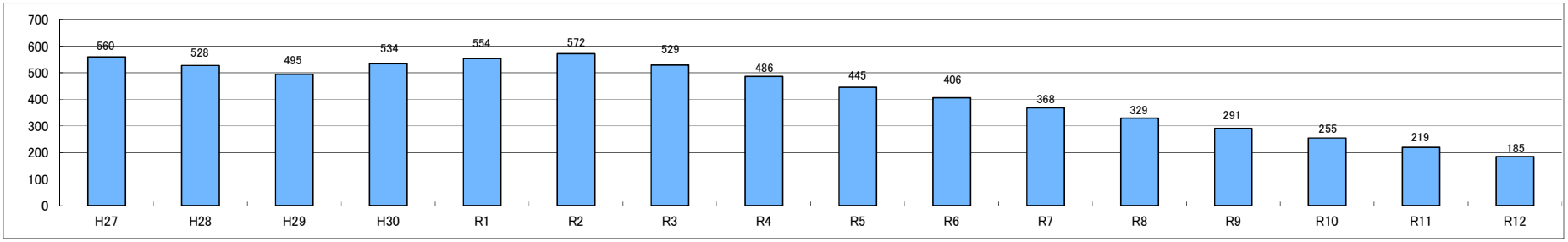
6. 企業債償還状況

年　度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
利　息	12,786	11,772	10,715	9,689	8,733	7,891	7,042	6,223	5,515	4,887	4,316	4,393	3,887	3,414	2,971	2,559
元　金	31,709	33,423	34,223	39,708	42,238	46,322	46,543	44,552	42,935	41,497	40,230	41,366	40,172	38,685	37,255	29,325
合　計	44,495	45,195	44,938	49,397	50,971	54,213	53,585	50,775	48,450	46,384	44,546	45,759	44,059	42,099	40,226	31,884
前年度比較	1,867	700	△ 257	4,459	1,574	3,242	△ 628	△ 2,810	△ 2,325	△ 2,066	△ 1,838	1,213	△ 1,700	△ 1,960	△ 1,873	△ 8,342
借　入　額	0	0	73,300	60,000	50,000	60,000										
残　高	528,380	494,957	534,034	554,326	562,088	575,766	529,223	484,671	441,736	400,239	360,009	358,873	319,837	320,188	282,582	290,863

元金、利息別償還状況の推移と今後の見込み　　（単位：百万円）



未償還残高（元金）の推移と今後の見込み　　（単位：百万円）



令和元年度　工事実施箇所

位　置　図　1：50,000

旭ヶ岡線外配水管移設工事

北黄金水系導水管布設替工事（達南通り線）

西萩原通り線外配水管移設工事

舟岡27号線配水管新設工事

旭10号線外配水管新設工事

国道37号（梅本町）外配水管布設替工事

東通り線外配水管布設替工事

鹿島町地内配水管移設工事

国道37号(館山町)配水管布設替工事

国道37号（長和町）配水管布設替工事

道道南黄金長和線交付金（公安）工事に伴う外配水管移設工事

善光寺通り線配水管布設替工事

凡　　例

- 現上水道給水区域
- 平成30年度末整備済地域
- 飲料水供給施設のある未普及地域
- 未普及地域
- 令和元年度工事予定箇所

令和2年度　工事予定箇所

位　置　図

1：50,000

北黄金水系導水管布設替工事

北黄金水系導水管布設替工事その2

東通り線配水管布設替工事

中末永20号線配水管布設替工事

中末永8号線配水管布設替工事

星の子川沿線外配水管布設替工事

館山水系配水管（気門別川）布設替工事

星の子線・桜川沿線配水管布設替工事

上川尻線配水管布設替工事

凡　　例

- 現上水道給水区域
- 令和元年度末整備済地域
- 飲料水供給施設のある未普及地域
- 未普及地域
- 令和2年度工事予定箇所

伊達市水道事業会計の概要及び経営状況について

Ｐ１

１．収益的収支の状況

令和元年度決算は、収入が610,492千円、支出が504,072千円で、106,420千円の純利益となりました。

支出の内容については、各施設や機械などの維持管理経費、人件費、減価償却費、起債償還金利子などとなっています。

２．水道料金用途別推移

家事用が全体の58.2%、家事用以外（大口事業所用）18.5%、家事用以外（大口事業所以外の事業所）23.3%、浴場用が0%となっています。

令和元年度の決算合計は、前年度と比較して34,869千円の減となっており、これは大口事業所の使用量が昨年度より減少したことが大きな要因です。

区分別では、家事用の収入が若干減っています。

Ｐ２

３．資本的収支の状況

令和元年度決算を前年度と比較すると、建設改良費と企業債償還金の支出増により、支出合計が5,292千円増加しています。

これは、施設整備費が前年度より増えていることが主な要因です。

また、収入は主に、企業債、工事負担金、補填財源で賄っています。

４．利益剰余金の推移

令和元年度決算で、剰余金合計が約996,697千円と前年度より106,420千円ほど増えており安定した推移を維持しています。

今後、多くの施設や配水管が耐用年数を迎え、多額の更新費用が発生することから、伊達市水道事業経営戦略に基づき剰余金等を有効に活用して対応していきます。

Ｐ３

５．給水原価と供給単価の推移

令和元年度の給水原価は156.22円、供給単価は169.59円となり、１㎥あたり13.37円の利益が生じています。

グラフにあるとおり、ここ５年間は概ね横ばいで推移しております。

Ｐ４

６．企業債償還状況

企業債の償還状況については、令和元年度の元利償還金が50,971千円で、起債残高は562,088千円となっています。

今後の見込みとしては、令和３年度をピークにして緩やかに減少していく見込みです。

Ｐ５

７．令和元年度 工事実施個所

工事実施個所は、12路線で総延長1,936ｍです。

Ｐ６

８．令和２年度 工事予定個所

工事実施個所は、９路線で総延長1,315ｍです。

令和2年11月16日(月)開催

令和2年度

伊達市上下水道事業経営審議会(第1回)資料

簡　易　水　道　事　業

建設部　水道課

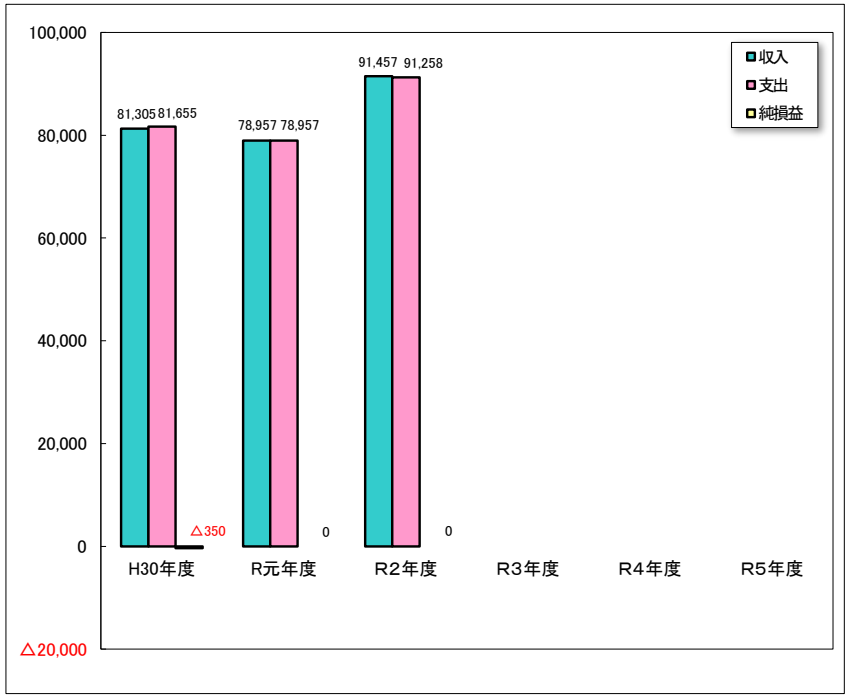
伊達市簡易水道事業会計の財政見通し

1. 収益的収支の状況

（単位:千円・税抜）

区分			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
収入	営業収益	簡易水道料金	30,572	39,403	34,023			
		受託工事収益						
		その他営業収益	66	234	268			
	営業外収益	受取利息	0	0	1			
		他会計補助金	42,011	31,071	46,229			
		他会計負担金	3,836	3,485	3,119			
		長期前受金戻入	4,819	4,763	4,385			
		雑収益	1	1	30			
	特別利益	その他特別利益						
	計		81,305	78,957	88,055			
支出	営業費用	原水及び浄水費	20,872	20,610	23,357			
		配水及び給水費	1,272	850	2,190			
		業務費	2,856	2,869	3,627			
		総係費	10,663	10,468	11,786			
		減価償却費	35,979	36,443	35,599			
		資産減耗費	912	348	35			
	営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	8,096	7,271	6,414			
		雑支出	181	98	1,150			
		控除対象外消費税の費用			3,897			
	特別損失	その他特別損失	824					
	計		81,655	78,957	88,055			
純損益			△350	0	0			

※令和元年度までは決算数値、令和2年度は当初予算数値。（平成30年度から公営企業会計に移行）
※令和元年度の受取利息の決算額は0千円となっているが10円の利息を受けている。
※令和2年度の雑支出には予備費1,000千円を含む。

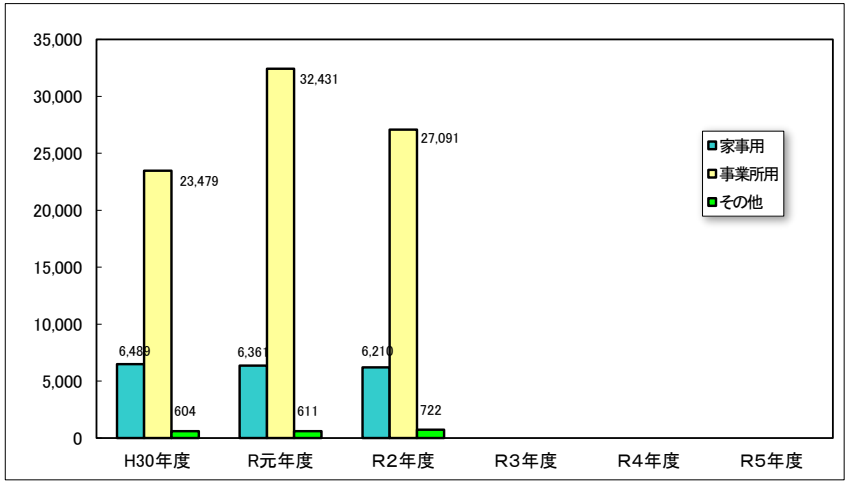


2. 水道料金用途別推移

（単位:千円・税抜）

区分		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
家事用	金額	6,489	6,361	6,210			
	%	21.2	16.1	18.3			
家事用以外（事業所用）	金額	23,479	32,431	27,091			
	%	76.8	82.3	79.6			
その他（浴場用）	金額	604	611	722			
	%	2.0	1.6	2.1			
計	金額	30,572	39,403	34,023			
	%	100.0	100.0	100.0			

※令和元年度までは決算数値、令和2年度は当初予算数値。（平成30年度から公営企業会計に移行）

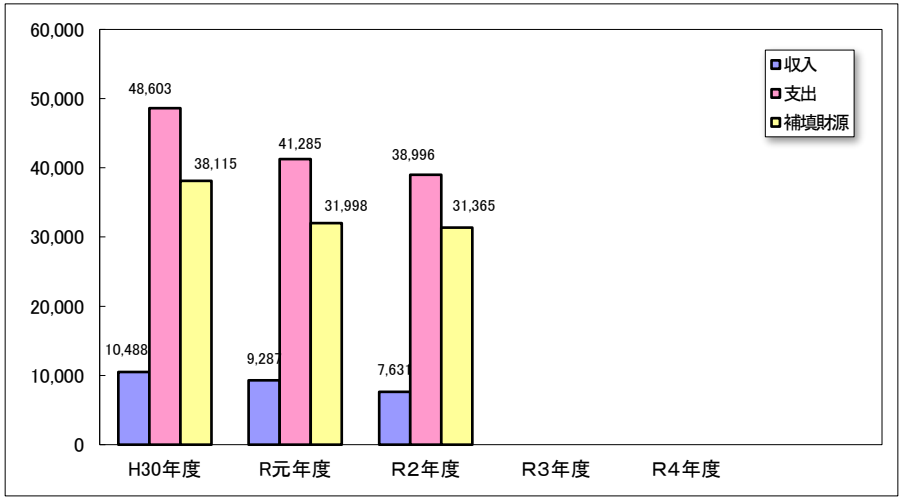


3. 資本的収支の状況

（単位：千円）

区分			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入	他会計出資金		10,488	9,287	7,631		
	企業債						
	補填財源		38,115	31,998	31,365		
	計		48,603	41,285	38,996		
支出	建設改良費	固定資産取得費	2,556	1,338	901		
		施設整備費	2,484		847		
		一般配水管設備費	5,357				
	企業債償還金（元金）		38,206	39,947	37,248		
	国庫補助金返還金						
	計		48,603	41,285	38,996		

※令和元年度までは決算数値、令和2年度は当初予算数値。



4.給水原価と供給単価の推移

（単位：円）

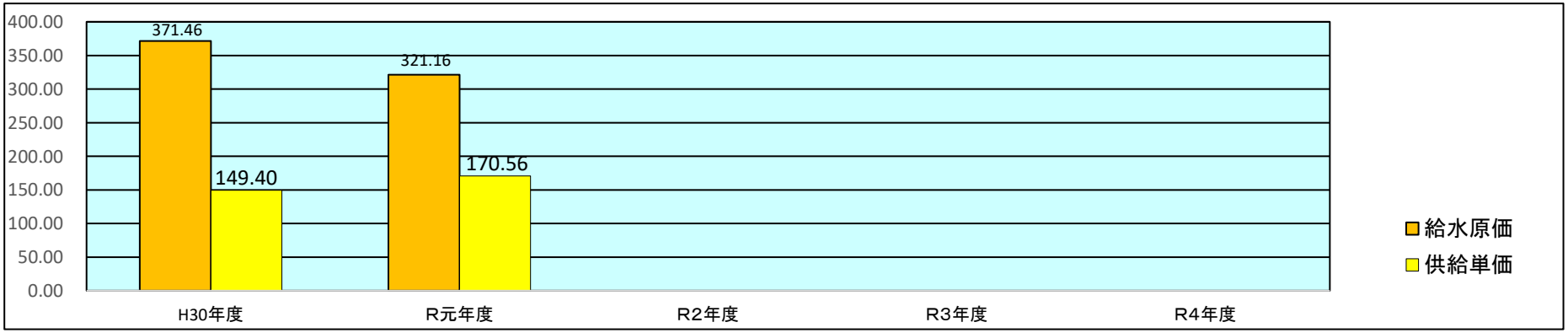
区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
給水原価	371.46	321.16			
供給単価	149.40	170.56			
差額	△ 222.06	△ 150.60	0.00	0.00	0.00

有収水量1㎥（1,000ﾘｯﾄﾙ）の水をつくり各家庭などまで運ぶ費用

有収水量1㎥（1,000ﾘｯﾄﾙ）あたりの給水収益

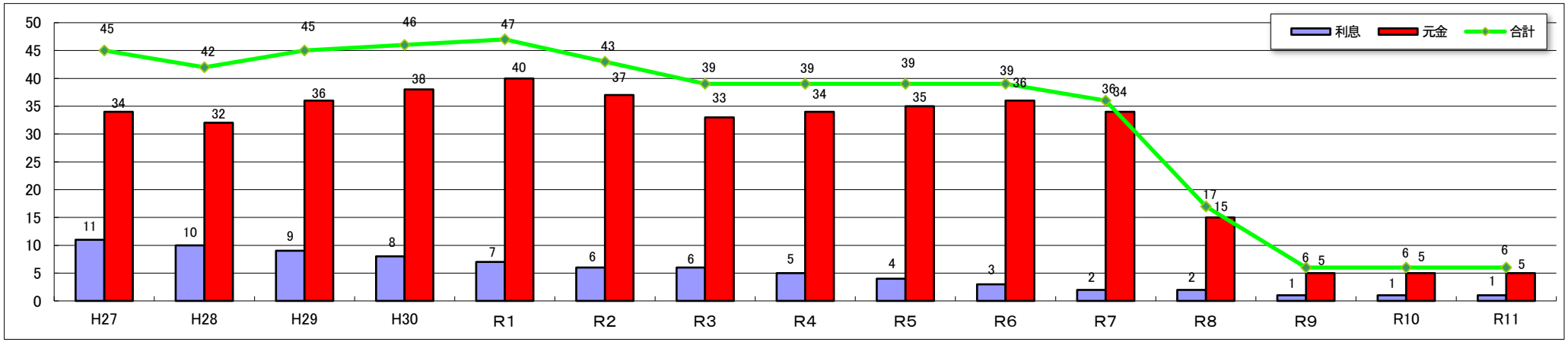
$$給水原価 = \frac{経常費用－(受託工事費＋受託工事の人件費＋材料売却原価＋付帯事業費+長期前受金戻入)}{年間総有収水量}$$

$$供給単価 = \frac{給水収益}{年間総有収水量}$$

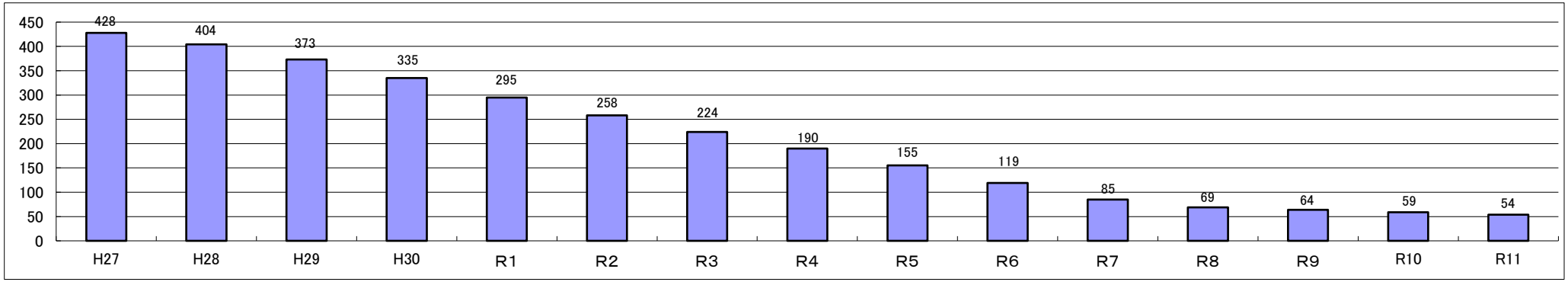


5. 企業債償還状況

元金、利息別償還状況の推移と今後の見込み　　（単位：百万円）



未償還残高（元金）の推移と今後の見込み　　（単位：百万円）

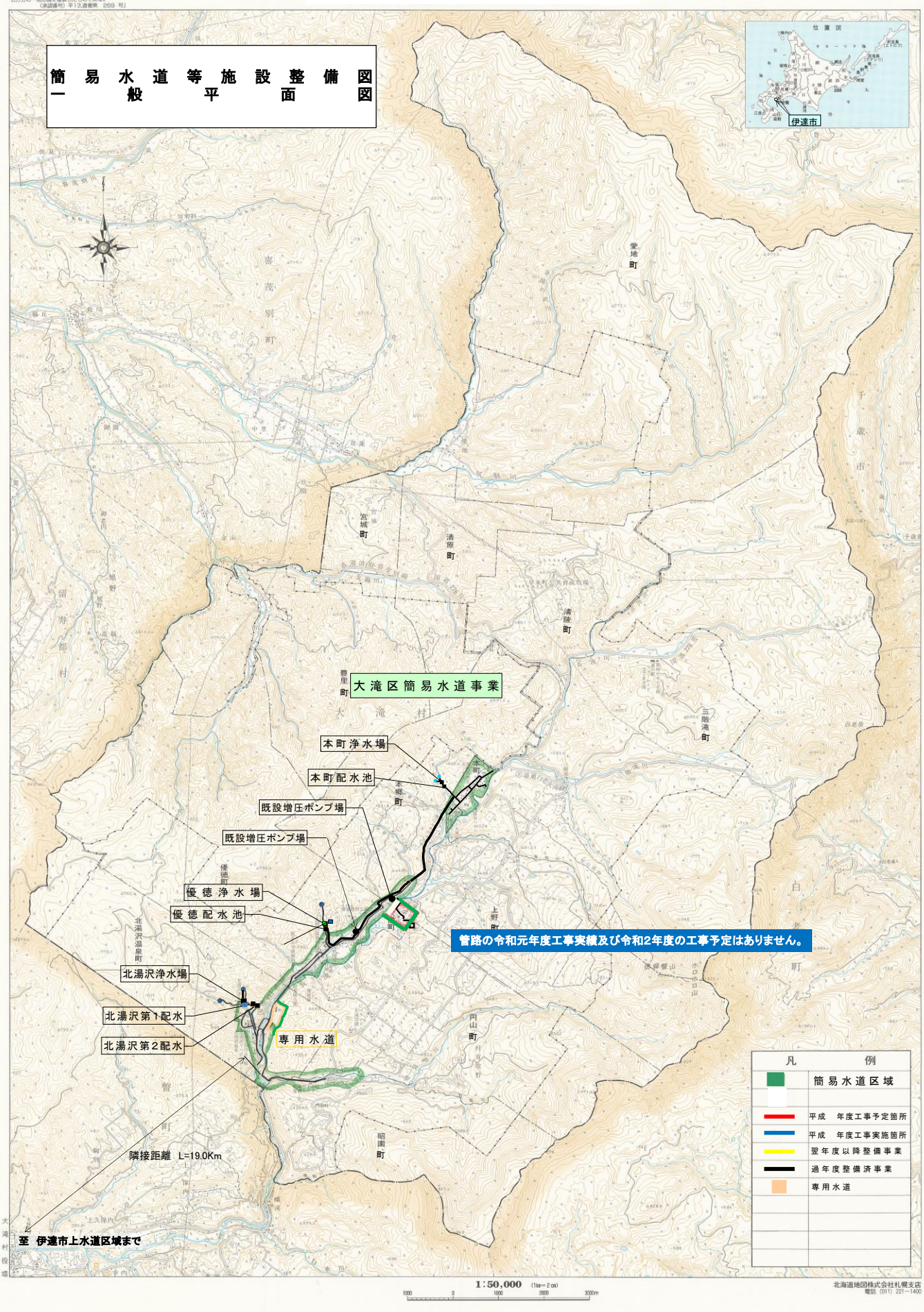


（単位：千円）

年　度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
利　息	10,567	9,586	8,857	8,096	7,271	6,414	5,601	4,797	3,970	3,118	2,244	1,495	1,219	1,128	1,037
元　金	34,244	31,690	36,192	38,206	39,947	37,247	33,460	34,257	35,078	35,923	34,459	15,361	5,254	4,803	4,894
合　計	44,811	41,276	45,049	46,302	47,218	43,661	39,061	39,054	39,048	39,041	36,703	16,856	6,473	5,931	5,931
前年度比較	△ 331	△ 3,535	3,773	1,253	916	△ 3,557	△ 4,600	△ 7	△ 6	△ 7	△ 2,338	△ 19,847	△ 10,383	△ 542	0
借　入　額	4,800	7,600	5,400												
残　高	428,122	404,032	373,240	335,034	295,087	257,840	224,380	190,123	155,045	119,122	84,663	69,302	64,048	59,245	54,351

伊達市大滝区全図

「この地図は国土地理院長の承認を得て同院発行の
五万分の一地形図を複製したものである。
（承認番号）平13.道複第　269　号」



伊達市簡易水道事業会計の概要及び経営状況について

Ｐ１

１．収益的収支の状況

令和元年度決算の収入が 78,957 千円となっております。給水収益につきましては、家事用以外の使用水量増加等により平成 30 年度と比較し 8,831 千円増加となっております。

他会計補助金につきましては、収益的収支の不足分として 31,071 千円を繰り入れております。

続きまして収益的支出は 78,957 千円で収益的収入と同額となり、純損益は 0 円となっております。

支出の内容につきましては、各施設や機械などの維持管理経費、人件費、減価償却費、起債償還利子などとなっています。

２．水道料金用途別推移

家事用が全体の 16.1％、家事用以外が 82.3%、浴場用が 1.6%となっております。

使用水量につきまして、家事用は料金統一の影響による節水などから、昨年度に続き減少傾向にありますが、家事用以外については、大口使用者の使用水量が増加したことに伴い増加傾向になっています。

Ｐ２

３．資本的収支の状況

収入支出額は共に 41,285 千円となっています。

収入につきましては、まず、補てん財源（現金を伴わない費用が内部留保資金として使用できる）を充当し更に不足する額を他会計出資金として受け入れを行っております。

支出の内容につきましては、水道メーター取替に係る経費などの固定資産取得費、元金の起債償還金となっています。

４．給水原価と供給単価の推移

給水原価が 321.16 円、供給単価が 170.56 円でマイナス 150.60 円の不足が生じています。

Ｐ３

５．企業債償還状況

令和元年度の元利償還金が 47,218 千円で起債残高は 295,087 千円となっています。

今後の見込みとしては令和元年度をピークに減少となり、令和 8 年度には過疎債等の完了により大きく減少する見込みとなっています。

Ｐ４

６．工事の実施状況

令和元年度は管路の工事実績はありませんでした。また、今年度につきましても現在のところ管路工事の実施予定はございません。

令和2年11月16日(月)開催

令和2年度

伊達市上下水道事業経営審議会(第1回)資料

下　水　道　事　業

建設部　下水道課

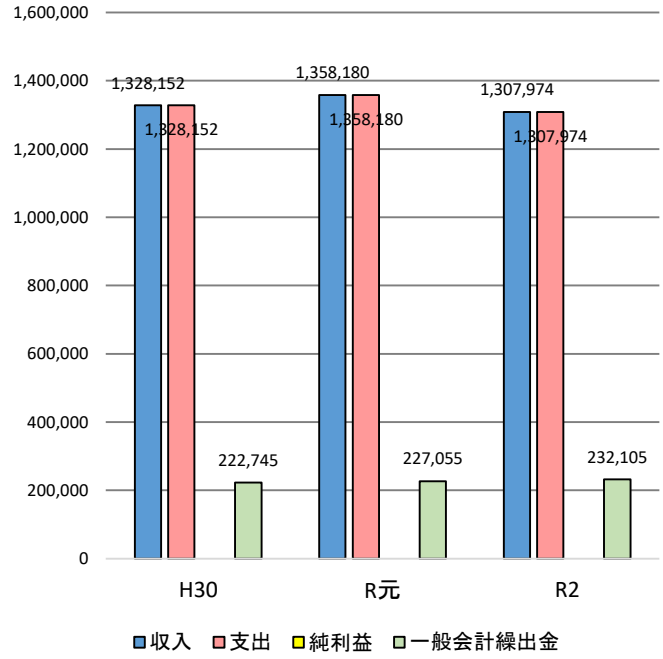
1．下水道事業会計の財政

（1）収益的収支の状況

（単位：千円・税抜）

区分			H30年度	R元年度	R2年度
収入	営業収益	下水道使用料	699,296	702,705	693,901
		雨水処理負担金	53,193	50,369	56,026
		受託工事収益			1,818
		その他営業収益	55	71	50
	営業外収益	受取利息	1	1	1
		他会計補助金	84,570	63,493	67,918
		補助金		15,675	10,500
		他会計負担金	84,982	113,193	108,161
		負担金	48,568	46,576	51,020
		長期前受金戻入	354,056	365,788	318,364
		雑収益	3,180	309	215
	特別利益	固定資産売却益	251		
	計		1,328,152	1,358,180	1,307,974
支出	営業費用	管渠費	28,298	23,075	26,301
		ポンプ場費	9,230	9,147	10,070
		処理場費	262,382	264,291	297,916
		水洗化促進費	1,082	1,068	1,830
		受託工事費			1,818
		総係費	106,870	138,357	136,470
		減価償却費	775,731	786,050	668,791
		資産減耗費	1,191	13,145	42,580
	営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	129,952	116,182	103,476
		雑支出	8,824	6,865	8,722
	特別損失	その他特別損失	4,592		
	予備費	予備費			10,000
	計		1,328,152	1,358,180	1,307,974
純損益			0	0	0

※令和元年度までは決算数値、令和2年度は当初予算数値□

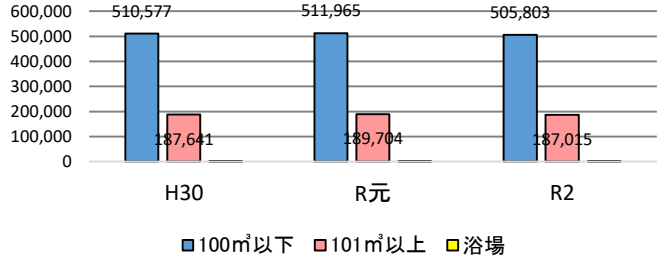


【長期前受金戻入】
償却資産の取得等に充てるために受けた補助金等を、減価償却に応じて、その見合い分を収益化するものです。あくまでも帳簿上の処理で、収益上、実際の現金収入はありません。

（2）下水道使用料用途別推移

（単位：千円・税抜）

区分			H30年度	R元年度	R2年度
一般用	100㎥/月以下	金額	510,577	511,965	505,803
		%	73.0	72.9	72.9
	101㎥/月以上	金額	187,641	189,704	187,015
		%	26.8	27.0	27.0
浴場用		金額	1,078	1,036	1,083
		%	0.2	0.1	0.2
計		金額	699,296	702,705	693,901
		%	100.0	100.0	100.0

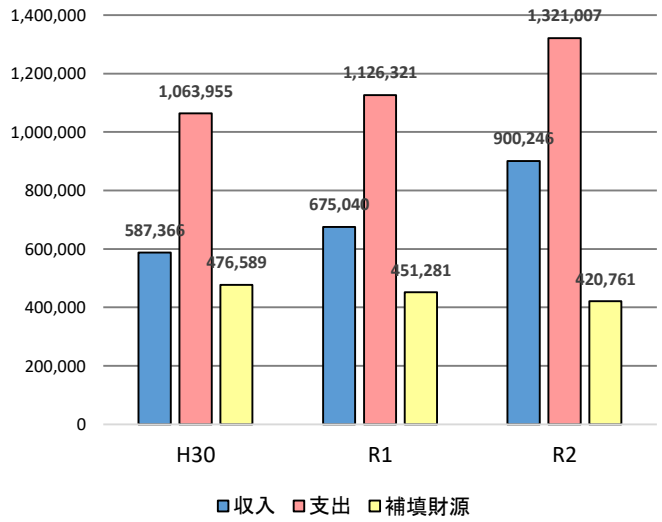


（3）資本的収支の状況

（単位：千円・税込）

区分			H30年度	R元年度	R2年度
収入	企業債		207,800	211,000	345,300
	国庫補助金		158,298	187,420	316,500
	負担金		7,226	20,523	247
	分担金		7,454	6,930	3,659
	他会計出資金		206,484	249,167	234,540
	不動産売払収入		104		
	補填財源		476,589	451,281	420,761
	計		1,063,955	1,126,321	1,321,007
支出	建設改良費	公共下水道整備費	340,029	411,626	624,500
		固定資産取得費	10,945		1,000
		受益者負担金業務費	1,087	1,027	1,053
	企業債償還金（元金）		710,528	713,626	694,454
	国庫補助金返還金		1,366	42	
	計		1,063,955	1,126,321	1,321,007

※令和元年度までは決算数値、令和2年度は当初予算数値□



【補填財源】
資本的収入が資本的支出に対して不足することとなった場合の補填に用いられる財源です。具体的には、消費税資本的収支調整額や損益勘定留保資金などの企業内部に留保された資金が補填財源となります。

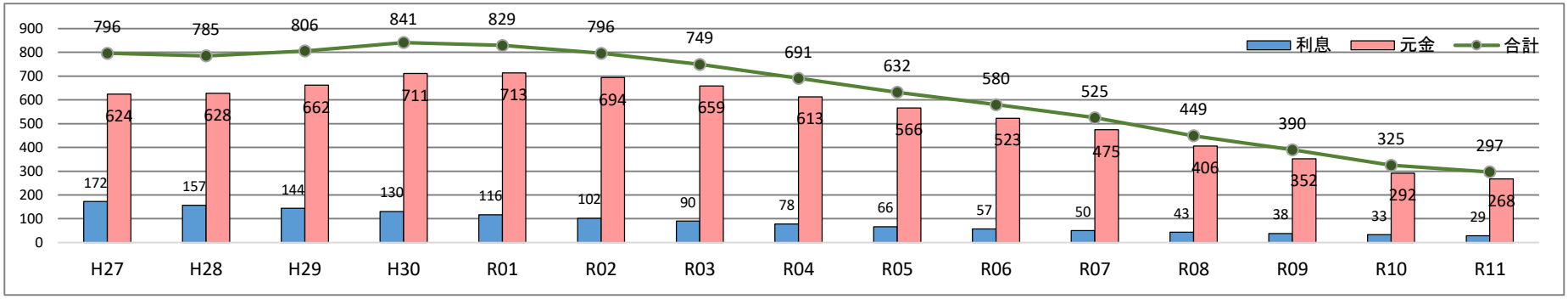
（4）企業債償還状況

区　　分	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	R08年度	R09年度	R10年度	R11年度
利　　息	171,568	157,394	143,508	129,941	116,171	102,350	90,283	77,705	66,459	57,199	49,514	43,059	37,806	33,303	29,288
元　　金	624,397	628,120	661,729	710,528	713,626	694,453	658,909	613,078	565,930	522,650	474,738	406,200	351,647	292,118	268,268
合　　計	795,965	785,514	805,237	840,469	829,797	796,803	749,192	690,783	632,389	579,849	524,252	449,259	389,453	325,421	297,556
前年度比較	△40,732	△10,451	19,723	35,232	△10,672	△32,994	△47,611	△58,409	△58,394	△52,540	△55,597	△74,993	△59,806	△64,032	△27,865
借　入　額	306,100	268,000	305,900	207,800	211,000	345,300									
残　　高	7,983,115	7,622,995	7,267,166	6,764,438	6,261,812	5,912,659	5,253,750	4,640,672	4,074,742	3,552,092	3,077,354	2,671,154	2,319,507	2,027,389	1,759,121

※令和２年度の利息及び元金償還額は、実償還額を計上しているため予算額と差異が生じている。

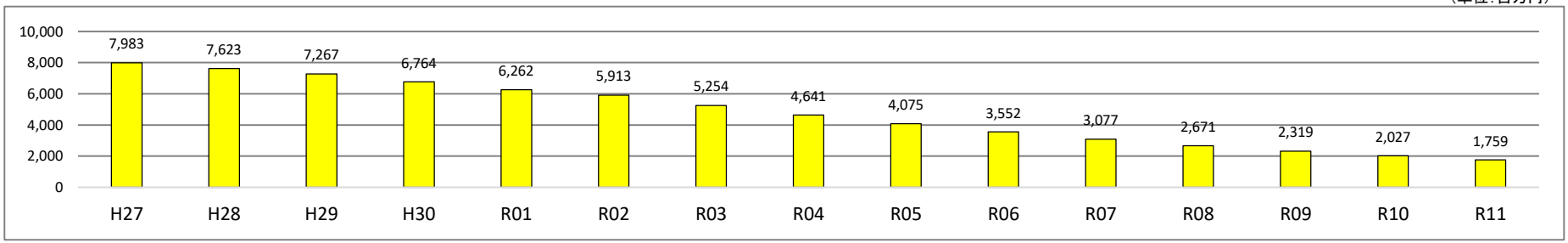
元金、利息別償還状況の推移と今後の見込み

（単位：百万円）



未償還残高（元金）の推移と今後の見込み

（単位：百万円）



（5）汚水処理原価と使用料単価

（単位：千円）

区　　分	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	説　　明
汚水処理原価	256.08	249.81	－	－	－	有収水量1㎥あたりの汚水処理費　：（維持管理費＋資本費）　÷　年間有収水量
使用料単価	232.45	234.62	－	－	－	有収水量1㎥あたりの使用料収入　：　使用料収入　÷　年間有収水量
差　　額	△23.63	△15.19	－	－	－	

2. 下水道事業整備状況等

（1）整備計画の概要

	伊達処理区（公共＋特環）		大滝処理区（特環）	
	全体計画	事業計画	全体計画	事業計画
	昭和49年度～令和3年度	昭和49年度～令和2年度	昭和49年度～令和3年度	昭和49年度～令和2年度
処理区域面積	1,225.4 ha	958.4 ha	110.0 ha	104.5 ha
処理人口	29,980 人	29,850 人	1,200 人	1,210 人
処理能力	13,500 ㎥/日	13,500 ㎥/日	1,530 ㎥/日	1,530 ㎥/日
雨水排水区域面積	1,425.1 ha	771.1 ha	ー ha	ー ha

（2）下水道普及率（令和元年度末）

	行政区域内人口	整備済人口	普及率	水洗化人口	水洗化率
伊達処理区	32,695 人	28,760 人	88.0 %	26,360	91.7 %
大滝処理区	961 人	782 人	81.4 %	706	90.3 %
計	33,656 人	29,542 人	87.8 %	27,066	91.6 %

※行政区域内人口は、3月末の住民基本台帳（外国人含む）の人口

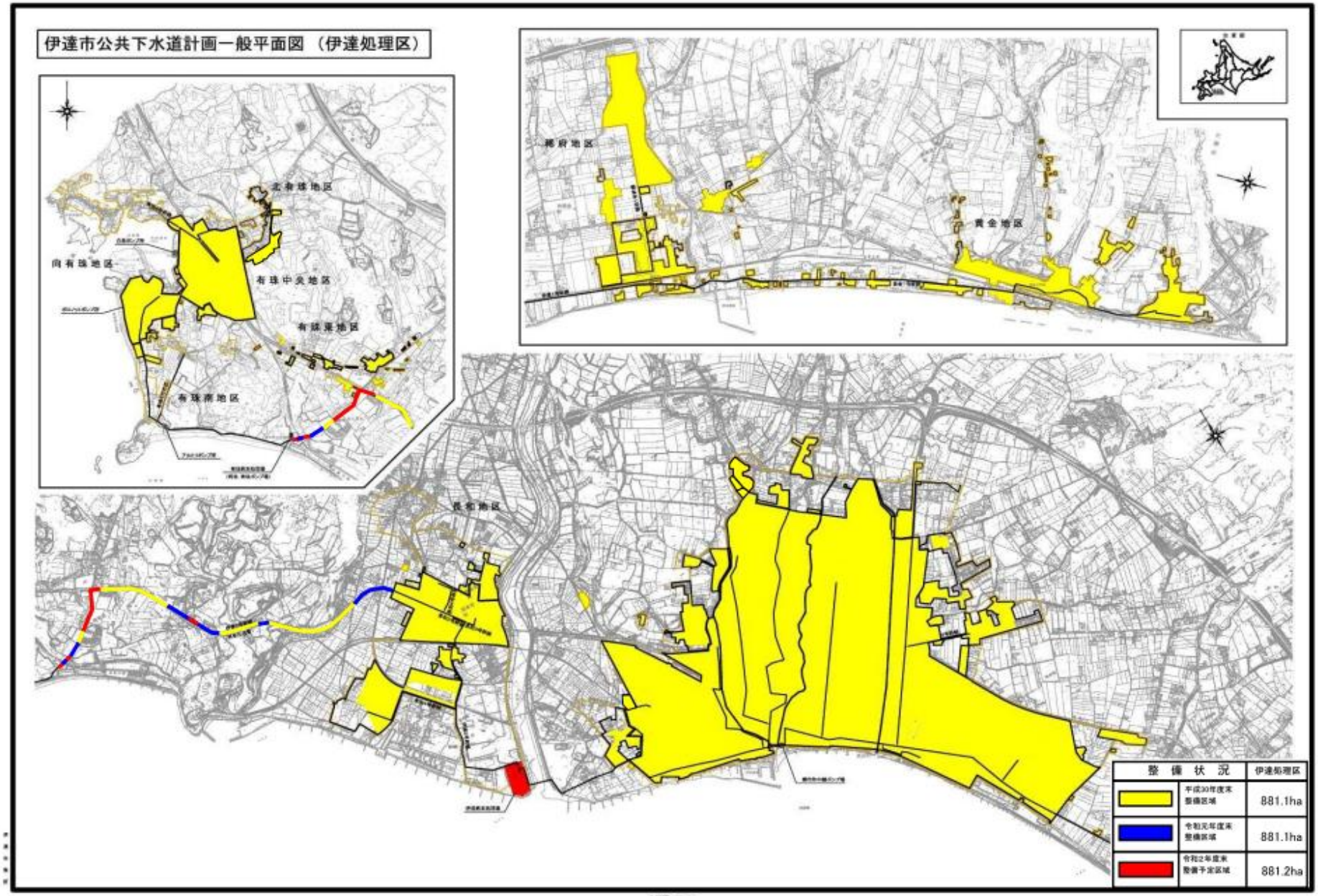
※水洗化率は、整備済人口に対する割合

（3）整備状況と投資額

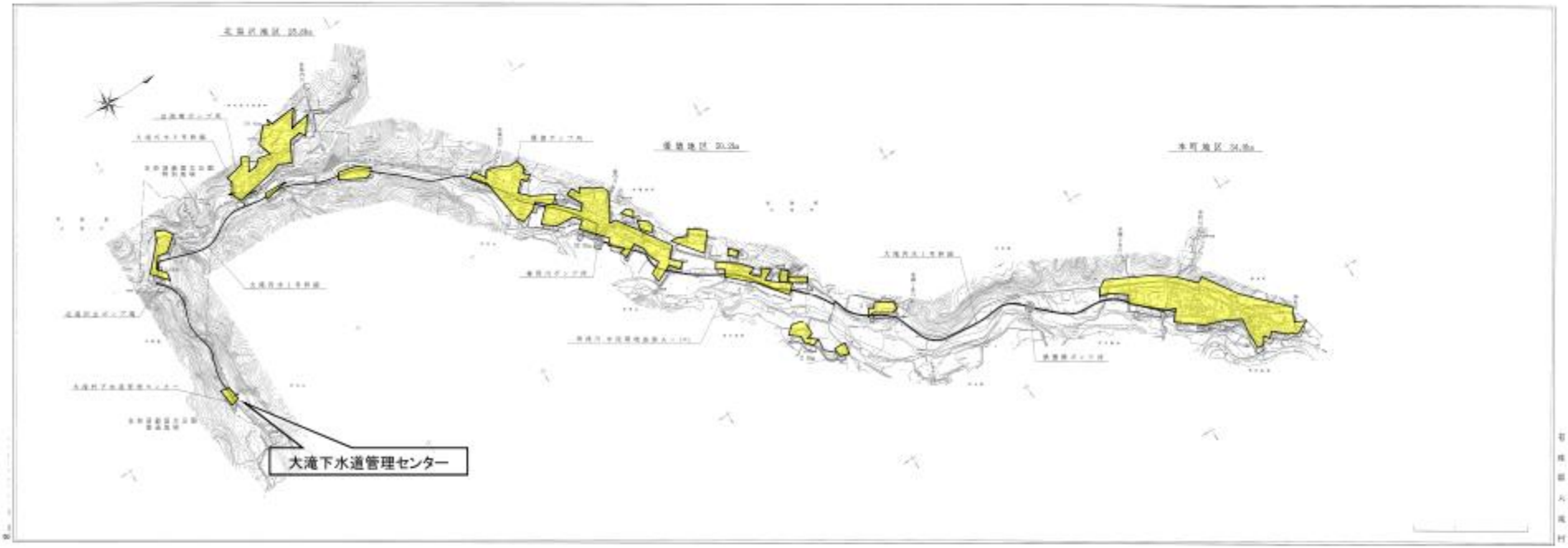
			整備状況						投資額												備考
			汚水			雨水			管渠費			ポンプ場費			処理場費			合計			
			管渠整備延長 km	整備面積 ha	整備率 %	管渠整備延長 km	整備面積 ha	整備率 %	補対 百万円	単独 百万円	計 百万円	補対 百万円	単独 百万円	計 百万円	補対 百万円	単独 百万円	計 百万円	補対 百万円	単独 百万円	計 百万円	
伊達処理区	令和元年度実績	当該年度	1.1	0.0		0.0	0.4		184.2	48.6	232.8	0.0	0.0	0.0	203.8	6.3	210.1	388.0	54.9	442.9	
		累計	192.5	881.1	91.9	11.3	120.6	15.6	12,923.5	5,876.7	18,800.2	143.6	4.3	147.9	10,345.9	53.5	10,399.4	23,413.0	5,934.5	29,347.5	
	令和２年度見込	当該年度	0.7	0.1		0.0	0.0		223.0	23.5	246.5	0.0	0.0	0.0	378.0	0.0	378.0	601.0	23.5	624.5	
		累計	193.2	881.2	91.9	11.3	120.6	15.6	13,146.5	5,900.2	19,046.7	143.6	4.3	147.9	10,723.9	53.5	10,777.4	24,014.0	5,958.0	29,972.0	
大滝処理区	令和元年度実績	当該年度	0.0	0.0					0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	63.8	0.0	63.8	63.8	0.0	63.8	
		累計	21.3	94.9	90.8	―	―	―	3,105.8	59.2	3,165.0	520.0	0.0	520.0	1,456.0	11.7	1,467.7	5,081.8	70.9	5,152.7	
	令和２年度見込	当該年度	0.0	0.0					0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		累計	21.3	94.9	90.8	―	―	―	3,105.8	59.2	3,165.0	520.0	0.0	520.0	1,456.0	11.7	1,467.7	5,081.8	70.9	5,152.7	

※整備率は、事業計画面積に対する割合

下 水 道 事 業 整 備 状 況 図（伊達汚水）

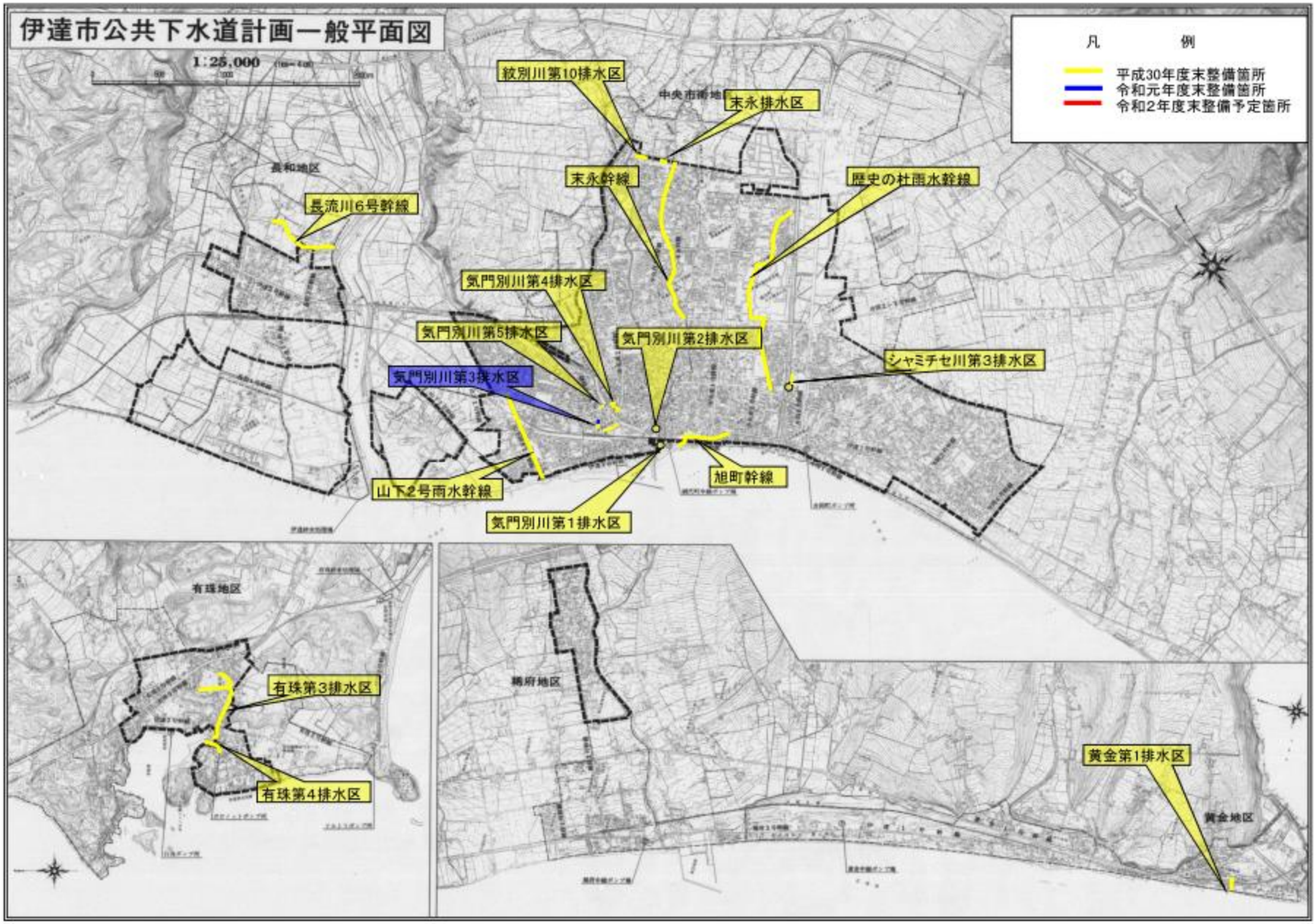


下水道事業整備状況図(大滝区)



整備状況		大滝処理区
	平成30年度末整備区域	94.9ha
	令和元年度末整備区域	94.9ha
	令和2年度末整備予定区域	94.9ha

下 水 道 事 業 整 備 状 況 図（雨 水）



伊達市公共下水道事業会計の概要及び経営状況について

Ｐ１

１．（１）収益的収支の状況

下水道事業は収支不足分を一般会計から繰入れていることから、収入と支出が同額の13億5,818万円となっています。

収入では、下水道使用料が全体の約52%、一般会計からの繰入金が約17%を占めています。

支出は、減価償却費が全体の約58%を占めている他、施設や機械などの維持管理経費、起債償還利子、人件費などが主なものとなっています。

Ｐ２

（２）下水道使用料用途別推移

下水道の用途区分は「一般用」と「浴場用」の２区分となっており、一般用の月100㎥以下の使用料が全体の73%程度を占めている状況となっています。

（３）資本的収支の状況

収入のうち、他会計出資金は、一般会計からの出資金であり、前年度は約2億4,917万円、今年度は約2億3,454万円の受入を予定しています。

支出については、公共下水道整備費が令和元年度決算額の4億1,163万円から、令和２年度予算は6億2,450万円に増加していますが、国に要望している事業費の満額を予算計上していることも影響しており、実績では減額になる見込みです。

Ｐ３

（４）企業債償還状況

企業債の償還状況については、令和元年度の元利償還金は8億2,980千円で、企業債残高は62億6,181万円となっており、今後、緩やかに減少していく見込みです。

Ｐ４

（５）汚水処理原価と使用料単価

令和元年度決算では、汚水処理原価249.81円に対して、使用料単価は234.62円と約94%の充足率となっており、差額の15.19円は一般会計からの繰入金で補填しています。

Ｐ５

２（２）下水道普及率（令和元年度末）

令和元年度末の普及率（整備済人口÷行政区域内人口）は87.8%、水洗化率（水洗化人口÷整備済人口）は91.6%となっています。

Ｐ６（３）整備状況と投資額

Ｐ７下水道事業整備状況図（伊達汚水）

令和元年度実績及び令和２年度予定については、伊達終末処理場の改築更新及び有珠区統合に係る連絡幹線等の整備が主な内容です。

Ｐ８下水道事業整備状況図（大滝区）

令和元年度実績及び令和２年度の整備予定はありません。

Ｐ９下水道事業整備状況図（雨水）

令和元年度に気門別川第３排水区等の整備を行いました。令和２年度の整備予定はありません。

報告２　新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う上下水道料金の減免について

本市では、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響で離職した方や、事業者の経済的負担を軽減するため、水道料金及び下水道使用料の基本料金を免除しました。
なお、減免による給水収益の減額分については、一般会計からの補助金を繰り入れることにより補填します。

１．対象者、減免の内容

	事業者の方	個人の方
概　　要	新型コロナウイルス感染症拡大により、収入が急激に減少した事業者の方の水道料金・下水道使用料の基本料金を免除	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、自己都合以外で離職された方の水道料金・下水道使用料の基本料金を免除
減免内容	新型コロナウイルス感染症拡大により、収入が急激に減少した事業者の方の水道料金・下水道使用料の基本料金を免除 用途が「家事用以外」の水道料金の基本料金(10㎥まで)と下水道使用料の基本料金(８㎥まで)を申請受理後の翌月から３ヵ月間免除	用途が「家事用」「家事用以外」の水道料金・下水道使用料の基本料金を申請受理後の翌月から３ヵ月間免除
減免要件	次の①②の両方の要件を満たす方 ①次のいずれかの給付金の交付決定を受けている方 ・緊急つなぎ給付金・伊達市がんばる事業者応援金・持続化給付金 ②水道の用途が「家事用以外」であること ※井戸水で下水道を使用している事業者も対象	次の①②の両方の要件を満たす方 ①世帯の主たる生計者で、新型コロナウイルス感染症の影響で離職した方　（自己都合除く） ②伊達市に在住している方
申請期間	令和２年６月 15 日～令和２年９月 30 日	

２．事業者の方　減免件数・減免額

※９月までは実績、10 月からは見込み

検針月	６月		７月		８月		９月		10 月		11 月		12 月		最終見込	
	水栓	金額	水栓	金額	水栓	金額	水栓	金額	水栓	金額	水栓	金額	水栓	金額	水栓	金額
水道	60	132,000	127	317,108	141	346,808	131	323,708	65	143,000	51	112,200	1	2,200	576	1,377,024
簡水	2	4,400	13	57,719	13	57,718	12	55,519	1	2,200	1	2,200	0	0	42	179,756
下水	58	108,460	120	224,400	133	247,775	114	212,245	54	100,980	41	76,670	2	3,740	522	974,270
合計	120	244,860	260	599,227	287	652,301	257	591,472	120	246,180	93	191,070	3	5,940	1,140	2,531,050

３．個人の方　減免件数・減免額

※９月までは実績、10 月からは見込み

検針月	６月		７月		８月		９月		10 月		11 月		12 月		最終見込	
	水栓	金額	水栓	金額	水栓	金額	水栓	金額	水栓	金額	水栓	金額	水栓	金額	水栓	金額
水道					1	1,045	1	1,045	2	2,090	1	1,045	1	1,045	6	6,270
簡水															0	0
下水									1	1,870	1	1,870	1	1,870	3	5,610
合計					1	1,045	1	1,045	3	3,960	2	2,915	2	2,915	9	11,880